

第3章 地域特性の把握

1. 計画地域の概要

事業計画地の現況は、標高 104 m 程度の平坦な田であり、北側と西側は県道 276 号小室大路線に接している。計画地域周辺には農地(田畑)が広がっており、事業計画地南東後背地には標高 251.5 m の大依山がある。尚、事業計画地が位置する長浜市浅井地域は、豪雪地帯対策特別措置法に基づく豪雪地帯に指定されている。事業計画地周辺の現況航空写真を写真 3-1-1 に示す。



写真 3-1-1 事業計画地とその周辺の現況

事業計画地全域は、都市計画法(昭和 43 年 法律第 100 号)第 8 条に基づき、図 3-1-1 の長浜市都市計画図(総括図)に示す「田園居住地区」(特定用途制限地域)に指定されている。田園居住地区とは、既存集落の維持を基本とし、住宅地、農地及び山林や農業関連施設等との共存を図り、大規模な商業施設及び工場、遊戯施設・風俗施設等の立地を制限して低層住宅の良好な住環境を守る地域とするものである。

事業計画地は、景観や自然環境の保全に係る条例等の指定区域には該当していない。又、事業計画地内に埋蔵文化財包蔵地の指定はないが、周辺には古墳群、城跡、集落跡及び窯跡等の遺跡が点在している。

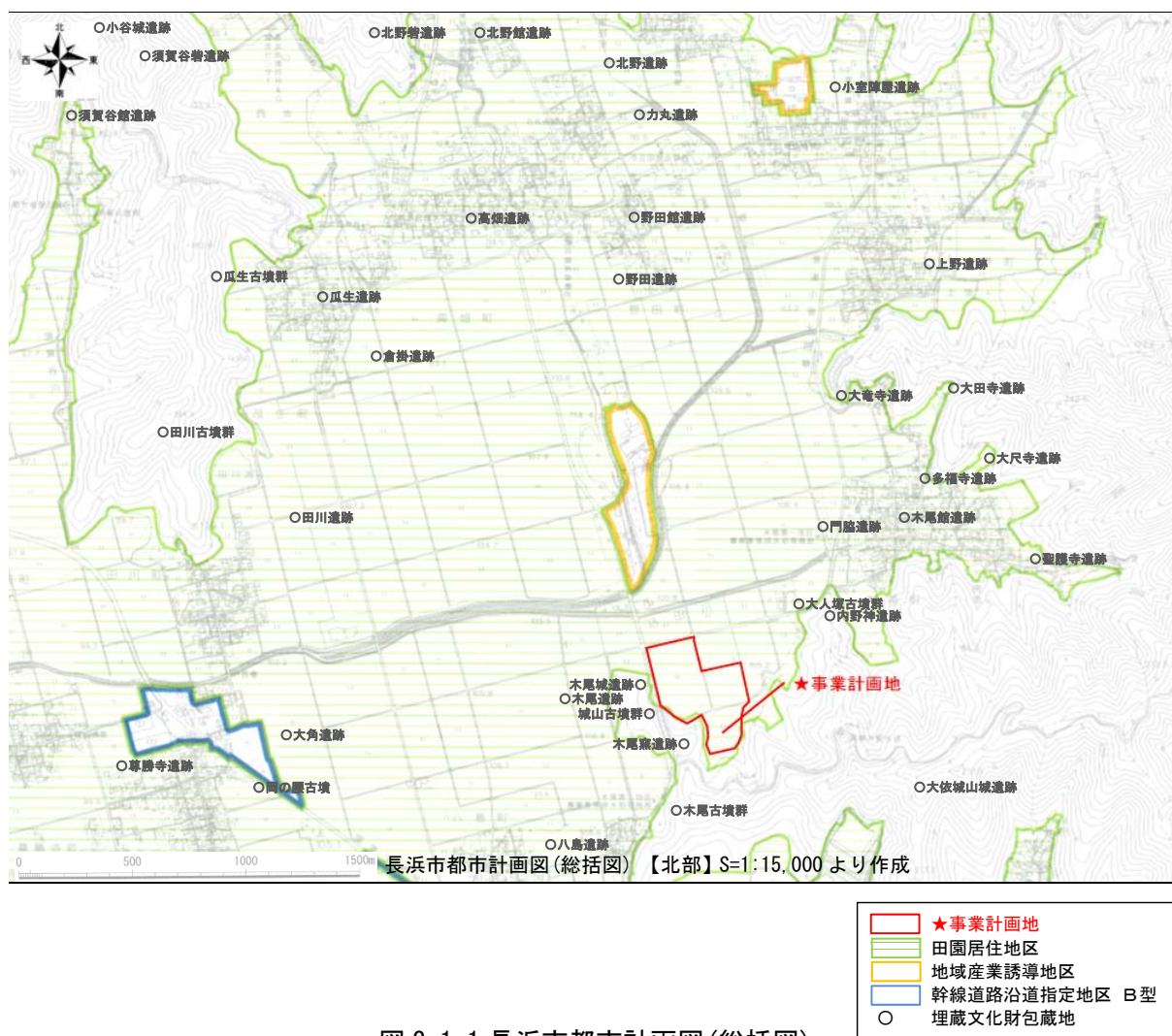


図 3-1-1 長浜市都市計画図(総括図)

事業計画地周辺には、500 m 以上離れた所から神社・仏閣が数多く点在している。又、1.0 km から 2.0 km の範囲には、教育施設(保育所、幼稚園、小・中学校)、社会教育施設(図書館、歴史民族資料館、公民館)、介護施設(老人ホーム)及び体育運動施設(スポーツ公園)が点在し、北西方向約 2.0 km に西池野鳥公園がある。事業計画地と周辺施設の位置を図 3-1-2 に示す。

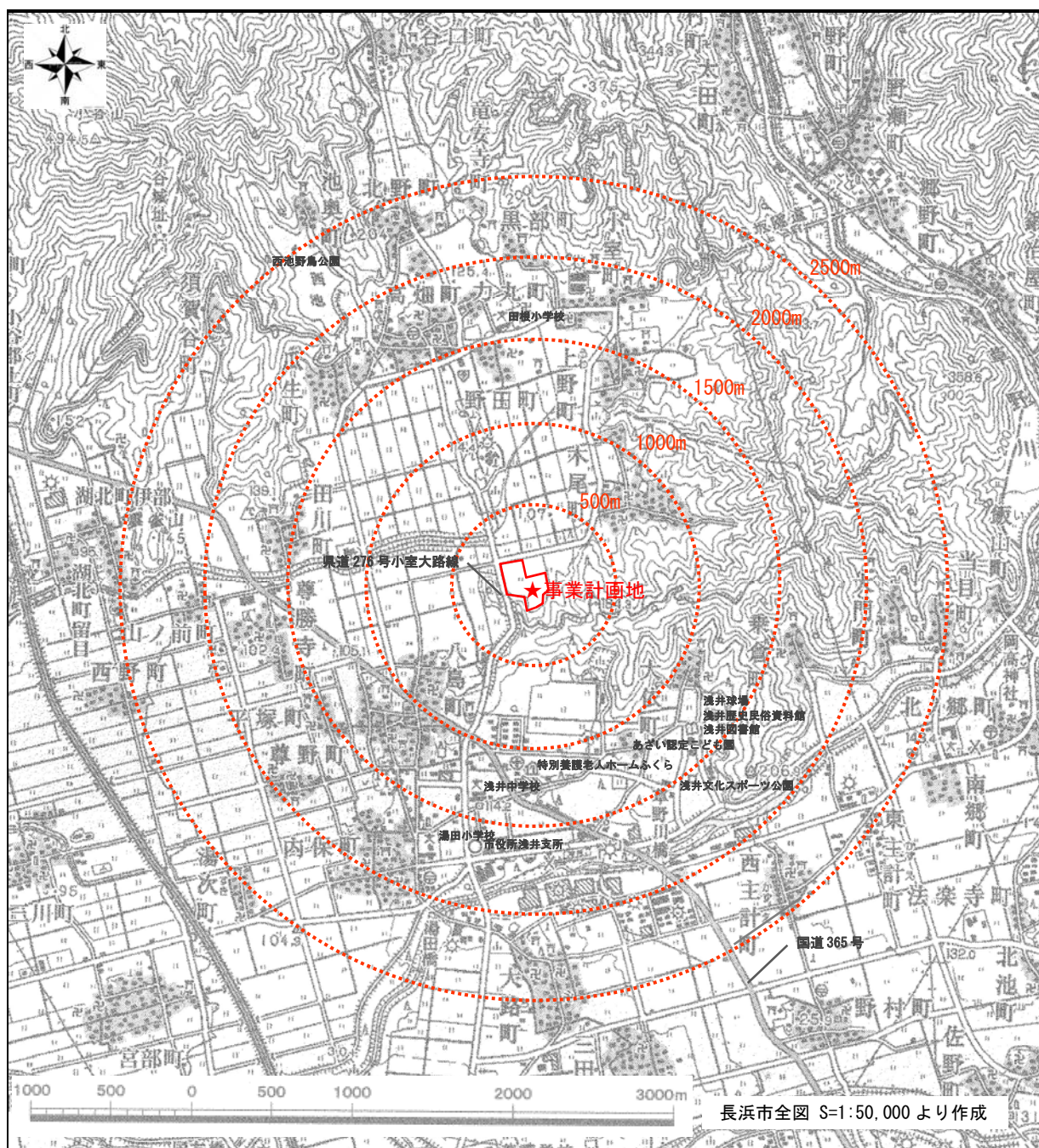


図 3-1-2 事業計画地と周辺施設

事業計画地は、西方向と南西方向以外は周囲を山に囲まれ、北西方向に小谷山(標高 494.6 m)、北方向に山田山(標高 504.8 m)と己高山(標高 922.6 m)、北東方向に嵯峨山(標高 358.6 m)、南東方向に大依山(標高 251.5 m)がある。

それら山に囲まれた事業計画地周辺の集落として、北東方向約 630 m～1,500 m に木尾町集落、南西方向約 450 m～500 m に木尾町集落と約 640 m～1,500 m に八島町集落、南方向約 680 m～1,000 m に野上町集落がある。事業計画地とその周辺集落の位置関係を図 3-1-3 に示す。

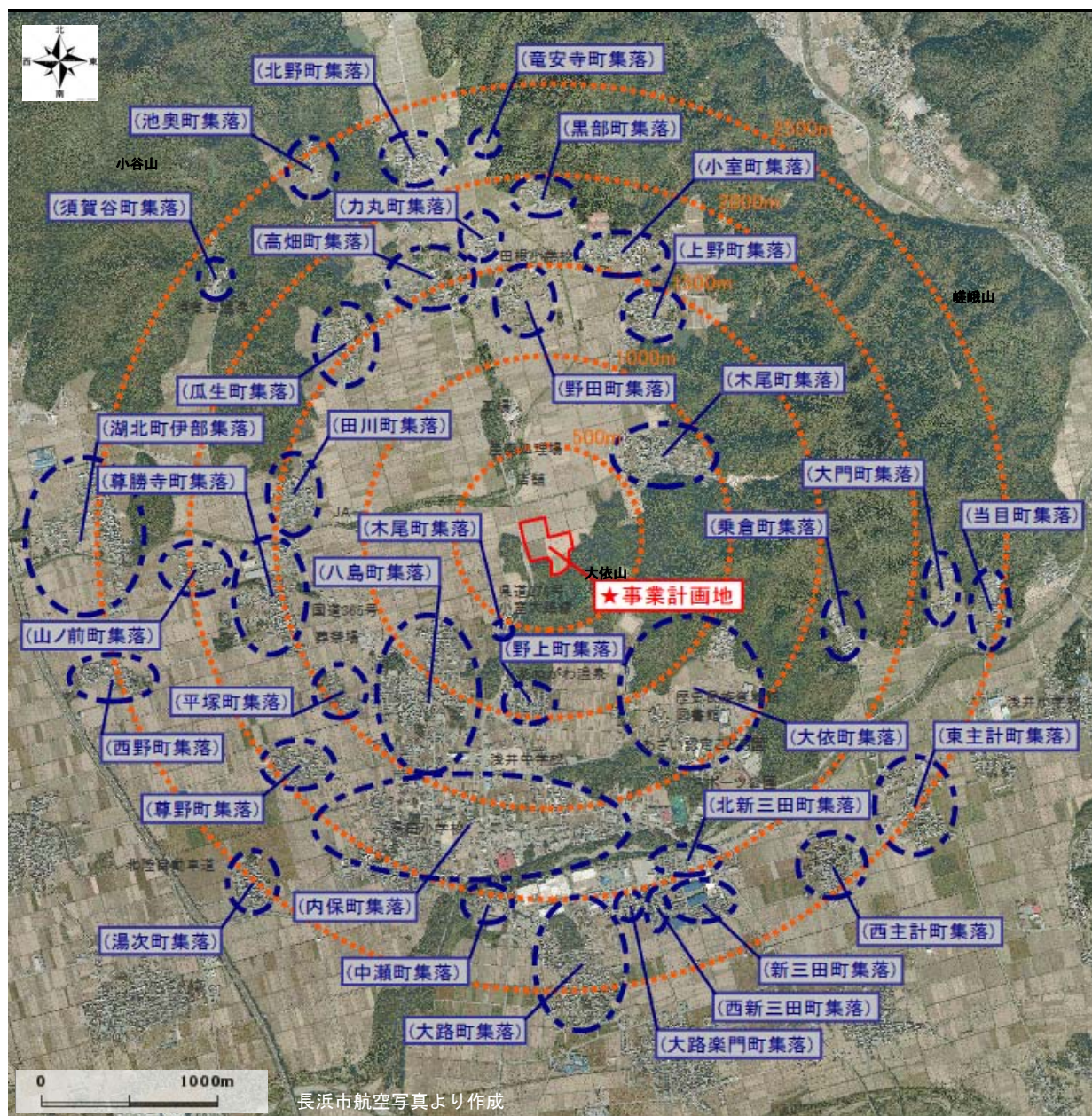


図 3-1-3 事業計画地とその周辺集落

2. 自然的状況

1) 気象

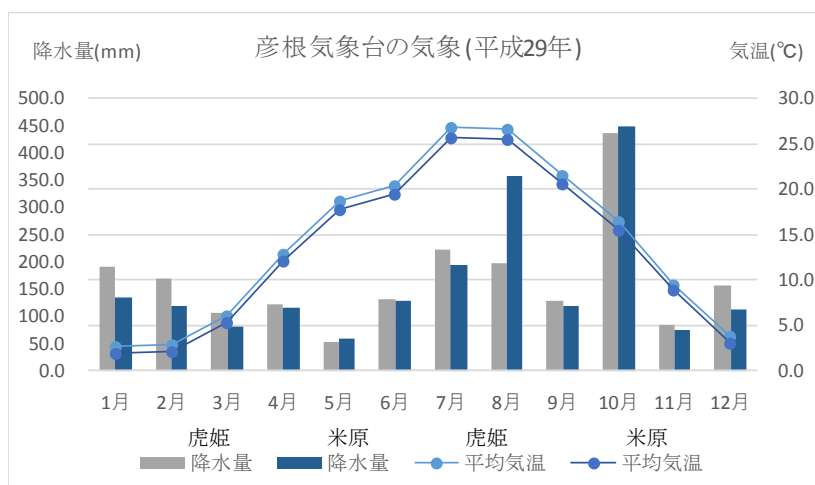
事業計画地に最も近い気象庁彦根気象台 虎姫観測所及び米原観測所(図 3-2-1 参照)における気温、降水量等を図 3-2-2 及び表 3-2-1～2 に示す。虎姫観測所は事業計画地の西南西 約 7 km の長浜市虎姫町、米原観測所は南東 約 8 km の米原市朝日(豪雪地帯)に位置する。

米原市には標高 1,377 m の伊吹山があり、日本海側の若狭湾と太平洋側の伊勢湾を結ぶ風の通り道の壁となっている。



図 3-2-1 彦根気象台 虎姫観測所及び米原観測所と事業計画地の位置

事業計画地の位置する琵琶湖流域北東部の湖北地方は、冬季に積雪の多い「日本海型気候」に属し、両市の一部は豪雪地帯と特別豪雪地帯に指定され、冬季積雪量は米原で平成 29 年に約 280 cm が観測されている。年間降水量は、平成 29 年で約 1,920 mm (虎姫観測所)、約 1,780 mm (米原観測所)であり、全国降水量(1,847 mm)に近い平均的な降水量を示している。



出典) 滋賀県の気象年報 彦根地方気象台

図 3-2-2 気象の状況

表 3-2-1 気象の状況（虎姫観測所）

年次		虎姫観測所				
		平均気温 (℃)	降水量 (mm)	日照時間 (h)	平均風速 (m/s)	最多風向
平成23年		14.0	1,758.5	1,848.1	1.7	NW
平成24年		13.9	1,740.0	1,911.4	2.1	NW
平成25年		14.3	1,696.0	2,050.1	2.0	NW
平成26年		14.1	1,525.5	2,000.8	2.0	NW
平成27年		14.6	1,959.5	1,885.3	2.0	NW
平成28年		15.1	1,698.0	2,001.5	2.0	ESE
平成29年	年間	14.0	1,994.0	1,920.7	1.9	ESE
	1月	2.7	192.5	97.1	1.8	NW
	2月	2.8	168.0	106.6	2.1	NW
	3月	6.1	105.0	172.8	1.9	NW
	4月	12.8	120.5	200.7	2.4	NW
	5月	18.7	52.5	222.0	2.0	ESE
	6月	20.5	133.0	224.3	2.1	NW
	7月	26.8	222.5	170.8	1.7	ESE
	8月	26.7	196.5	187.0	1.9	NW
	9月	21.5	127.5	188.8	1.9	NW
	10月	16.4	436.0	107.5	1.6	NW
	11月	9.5	83.5	153.7	1.4	NW
	12月	3.9	156.5	89.4	1.6	NW

出典）滋賀県の気象月報 彦根地方気象台

注）虎姫観測所では積雪量の観測なし。

表 3-2-2 気象の状況（米原観測所）

年次		米原観測所					
		平均気温 (℃)	降水量 (mm)	日照時間 (h)	平均風速 (m/s)	最多風向	積雪量 (cm)
平成23年		13.2	2,105.5	1,729.7	2.2	WNW	163
平成24年		13.1	1,955.5	1,772.8	2.3	WNW	384
平成25年		13.5	1,701.0	1,901.7	2.2	WNW	200
平成26年		13.4	1,418.0	1,881.7	2.3	WNW	114
平成27年		14.0	1,681.5	1,782.6	2.3	WNW	215
平成28年		14.4	1,613.5	1,864.1	2.3	ESE	63
平成29年	年間	13.2	1,942.5	1,784.2	2.1	ESE	277
	1月	2.0	134.5	94.8	2.2	WNW	111
	2月	2.2	120.0	96.9	2.7	WNW	97
	3月	5.4	80.5	159.6	2.6	WNW	12
	4月	12.1	115.0	185.0	2.6	WNW	0
	5月	17.8	58.5	219.3	2.4	WNW	0
	6月	19.4	127.0	217.5	2.5	WNW	0
	7月	25.8	194.0	149.0	2.0	SE	0
	8月	25.5	357.0	168.4	2.2	SE	0
	9月	20.6	118.0	180.0	2.2	WNW	0
	10月	15.6	450.0	88.5	1.7	WNW	0
	11月	8.9	76.0	135.2	1.6	WNW	0
	12月	3.1	112.0	90.0	1.9	WNW	57

出典）滋賀県の気象月報 彦根地方気象台

3. 社会的状況

長浜市は、平成 18 年 2 月 13 日に旧長浜市、東浅井郡浅井町及び びわ町の 1 市 2 町が合併して誕生し、その後、平成 22 年に 1 月 1 日に東浅井郡虎姫町、湖北町、伊香郡高月町、木之本町、余呉町及び西浅井町を編入して大津市と草津市に次ぐ県下第三の都市となっている。

米原市は、平成 17 年 2 月 14 日に米原町、山東町及び伊吹町の 3 町が合併して誕生し、10 月 1 日に近江町を編入して現在に至っている。

1) 人口及び世帯数

長浜市と米原市の人口と世帯数の推移は、図 3-3-1 及び表 3-3-1 に示すとおりであり、2 市合計で平成 29 年度末人口 158,294 人、世帯数 59,699 である。

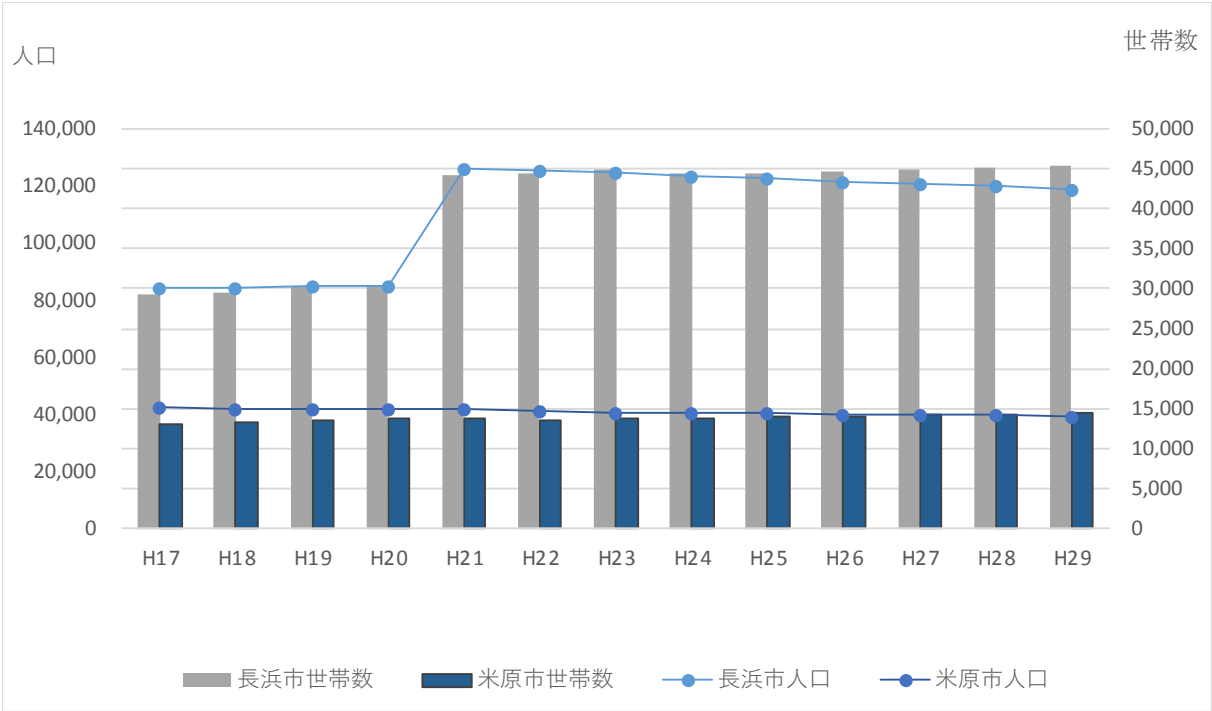


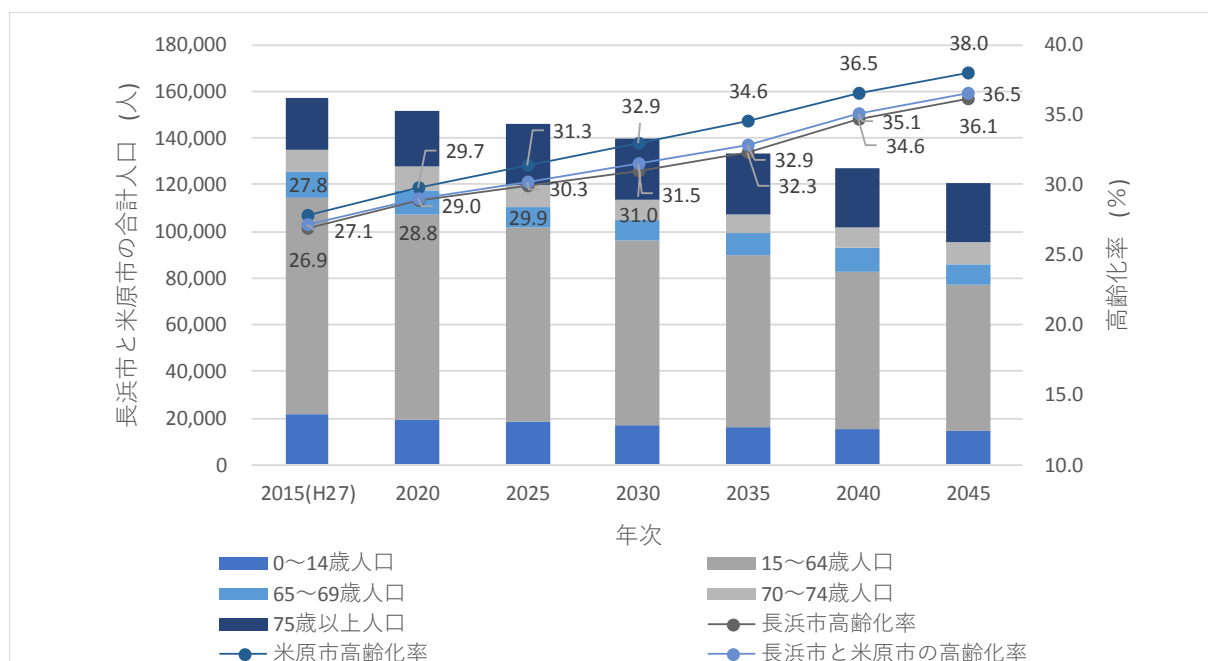
図 3-3-1 長浜市と米原市の人口と世帯数の推移

表 3-3-1 長浜市と米原市の人口と世帯数の推移

年度	長浜市				米原市				合 計			
	長浜市人口			長浜市世帯数	米原市人口			米原市世帯数	人口			世帯数
	総数	男	女		総数	男	女		総数	男	女	
平成17年度	84,377	41,190	43,187	29,171	42,210	20,715	21,495	13,122	126,587	61,905	64,682	42,293
平成18年度	84,501	41,284	43,217	29,515	42,099	20,656	21,443	13,296	126,600	61,940	64,660	42,811
平成19年度	85,025	41,582	43,443	30,165	41,985	20,598	21,387	13,516	127,010	62,180	64,830	43,681
平成20年度	84,813	41,537	43,276	30,472	41,849	20,515	21,334	13,678	126,662	62,052	64,610	44,150
平成21年度	126,039	61,594	64,445	44,166	41,559	20,370	21,189	13,699	167,598	81,964	85,634	57,865
平成22年度	125,418	61,422	63,996	44,484	41,163	20,163	21,000	13,632	166,581	81,585	84,996	58,116
平成23年度	124,695	60,998	63,697	44,778	40,868	20,056	20,812	13,720	165,563	81,054	84,509	58,498
平成24年度	123,335	60,311	63,024	44,275	40,577	19,892	20,685	13,811	163,912	80,203	83,709	58,086
平成25年度	122,310	59,772	62,538	44,367	40,354	19,745	20,609	13,923	162,664	79,517	83,147	58,290
平成26年度	121,532	59,385	62,147	44,604	39,982	19,577	20,405	13,985	161,514	78,962	82,552	58,589
平成27年度	120,595	58,955	61,640	44,776	39,864	19,514	20,350	14,129	160,459	78,469	81,990	58,905
平成28年度	119,748	58,578	61,170	45,096	39,645	19,347	20,298	14,258	159,393	77,925	81,468	59,354
平成29年度	118,808	58,103	60,705	45,327	39,486	19,249	20,237	14,372	158,294	77,352	80,942	59,699

出典) 長浜市及び米原市統計情報による。長浜市は平成 21 年度から平成 29 年度までは 4 月 1 日現在、平成 17 年度から平成 27 年度までは年度末、米原市は 4 月 1 日現在の数値を示す。

長浜市と米原市管内の高齢化率は、図 3-3-2 に示すとおり 2015 年(平成 27 年)で 27.1%となっており、2045 年には 36.5%となるものと推計され、高齢化率が 21%以上の超高齢社会が進行していくものと考えられる。



注) 国立社会保障・人口問題研究所 日本の地域別将来推計人口(2018(平成 30))年推計より作成。

図 3-3-2 長浜市と米原市の年齢別人口と高齢化率の将来推移

2) 地 勢

長浜市の総面積は、琵琶湖を含めて 681.02 km²あり、そのうち、可住地面積は 164.24 km²(総面積－(林野面積＋主要湖沼面積))となっている。米原市の総面積は 250.46 km²である。

両市の主要河川、湖沼及び山岳の面積等は、表 3-3-2～4 に示すとおりである。

表 3-3-2 主要河川の概要

市 別	河 川	河川延長	流域面積
長浜市	余呉川	24.9 km	63.5 km ²
長浜市、米原市	姉 川	31.3 km	370.1 km ²
長浜市	高時川	48.4 km	212.0 km ²
米原市	天野川	19.0 km	111.0 km ²

出典) 長浜市及び米原市統計書

表 3-3-3 湖沼の概要

市 別	湖 沼	面 積	
長浜市	琵琶湖	141.39 km ²	琵琶湖総面積 669.23km ²
米原市		27.36 km ²	
長浜市	余呉湖	1.75 km ²	

出典) 長浜市及び米原市統計書

表 3-3-4 山岳の概要

市 別	山 岳	所在地	標 高
長浜市	金糞岳	高山町	1,317 m
米原市	伊吹山	米原市	1,377 m
	霊仙山	犬上郡多賀町	1,094 m

出典) 長浜市及び米原市統計書

3) 道路交通

長浜市の道路状況は、平成 29 年度末現在、長浜市の国道、県道及び市道の総延長は約 1,672km であり、国道が全体の 1 割、県道が 2 割、市道が 7 割程度を占めている。

道路網の骨格は、長浜市のほぼ中央を南北に縦貫する北陸自動車道と国道 8 号、国道 365 号の 3 路線を中心にこれらの国道相互を連絡する主要地方道、一般県道及び主な市道により形成されている。

道路交通センサスの交通量では、国道 8 号、駅前通り(県道間田長浜線)、県道中山東上坂線の利用が多く、自動車交通は広域連絡幹線道路に集中している。事業計画地への進入道路となる県道 276 号小室大路線は、国道 365 号と連絡している。



図 3-3-3 長浜市南部の道路網

4) 史跡等

長浜市は、湖北地方の中心地として長浜城を核とした城下町として羽柴秀吉により整備された。長浜城廃城後は大通寺(長浜御坊)の門前町、北国街道や琵琶湖水運の要衝として発展し、姉川古戦場等戦国時代の史跡が多く残っており、長浜市国友は近世に国内有数の鉄砲生産拠点として栄えた。

事業計画地の近くに位置する小谷城跡は、日本五大山城の一つであり、国の史跡に指定されている。